

造血細胞移植を含む
血液造血器腫瘍疾患看護
にかかわる
看護師のクリニカルラダー
—第2版—

(C)2010 日本造血細胞移植学会看護部会
無断転用を禁じます

造血細胞移植を含む血液造血器腫瘍疾患看護にかかわる 看護師のクリニカルラダー 第2版

【はじめに】

日本造血細胞移植学会看護部会では、造血細胞移植看護の質の維持・向上のために「造血細胞移植を含む血液造血器腫瘍疾患看護にかかわる看護師のクリニカルラダー」を作成しました。日本造血細胞移植学会看護部会では、この「クリニカルラダー」を基に自己学習や施設内研修では困難な内容を中心に、学術総会等で教育機会を提供し、造血細胞移植にかかわる看護師の臨床実践能力向上をより推進したいと考えております。

造血細胞移植看護には、感染管理・化学療法看護等の専門性に加えて、個々のケースに適した患者教育や治療経過に特有な問題に悩む患者や家族への精神的支援等多様で高度な臨床実践能力が求められます。しかし、殆どの造血細胞移植施設では、看護師の配置転換などにより熟練した看護師の不足や、施設内及び地域での学習機会が困難な状況となっています。また、学習を進めていくにあたって、基盤とする資料を探すことが困難なのではないかと考えます。

そこで、今回は第2版として、各カテゴリー別に学習する時の参考資料として、書籍や文献を追加記載いたしました。参考資料を基に、自己学習や施設内研修を進めていただければと思います。

【クリニカルラダーのねらい】

1. 造血器細胞移植看護にかかわる看護師の教育計画策定の手引きとする。
2. 造血器細胞移植看護に必要な看護実践能力を自己評価・他者評価し学習の動機づけとする。
- 3.

【クリニカルラダーのカテゴリーとレベル設定】

カテゴリー：移植の基礎・血液学免疫学の基礎知識・対象疾患に関する基礎知識・化学療法・移植前処置・薬剤輸血の知識と投与管理・幹細胞採取看護・幹細胞輸注・免疫反応と対応・GVHD・造血細胞移植にともなう感染症・移植にともなう臓器障害・晩期障害・感染管理・口腔ケア・スキンケア・患者教育・倫理・家族支援等造血細胞移植看護に必要な専門知識をカテゴリーとしました。

レベル：Patricia.Benner の技能の修得レベルを参考に定義しました。

- | |
|---|
| <p>レベルⅠ 初心者・新人：知る・マニュアル通り・指導のもとできる：
一般論を頼りにし、データ収集はできるが、何を意味しているのか患者の状況と結びつけるのは難しい状況にあり、先輩の指導を受けながら、あるいはガイドラインをもとに日々の業務を行っていきける。</p> <p>レベルⅡ 一人前：理解できる・正しく実践できる・述べることができる
ガイドラインに加え、経験的に裏付けられた知識や問題解決技術が展開できる</p> <p>レベルⅢ 熟達者：急変や救急の場面で自分の働き方がわかり、周囲の状況をマネジメントできるとともに個別性を重視した柔軟な対応ができる。リーダーとして活動できる。</p> <p>レベルⅣ エキスパート：予測して予防できる・危機管理ができる・資源を活用できる・コーディネートできる。専門的知識を活用し看護実践・研究活動ができる</p> |
|---|

【使用上の注意】『造血細胞移植を含む血液造血器腫瘍疾患看護にかかわる看護師のクリニカルラダー』の無断転用を禁じます。執筆・研究等で引用する場合は日本造血細胞移植学会事務局宛 (jshct@med.nagoya-u.ac.jp) 使用目的・研究代表者を事前にお申し出ください。

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ:初心者・新人	レベルⅡ:一人前	レベルⅢ:熟達者	レベルⅣ:エキスパート	参考資料
化学療法	注意を要する急性症状と対応		注意を要する急性症状を知る	観察した症状をアセスメントできる	治療によって起こりうる特有の急性症状を予測し、観察ができる	急性症状出現を予測し、予防を考慮した対策ができる	佐藤禮子監訳, 日本がん看護学会翻訳ワーキンググループ訳(2009)がん化学療法・バイオセラピー看護実践ガイドライン. 医学書院, 東京.
			急性症状の観察ができる	急性症状出現時に適切な対応ができる	急性症状出現時に患者の個性に応じた対応ができる	急性症状出現時の対応基準を多職種と協働して予め調整できる	国立がんセンター中央病院看護部編(2009)がん化学療法看護 スキルアップテキスト アセスメントと患者支援の総合力アップをめざして. 南江堂, 東京.
移植前処置	移植前処置の方法		前処置の目的を知る	患者の疾患・病態に応じた前処置選択を理解できる	個々の患者に選択された前処置レジメンの意義が理解できる	治療レジメンの決定において、患者の医学的・心理社会的側面を考慮し、多職種と協働し関わることができる	品川克至(2008)移植前処置の実践. 神田善信編, みんなに役立つ基礎と臨床(上巻), p220-2231, 医療ジャーナル社, 大阪.
	前処置レジメンと看護	自家移植	前処置方法の相違を知る				名島悠峰, 山下卓也(2009)造血幹細胞移植の方法論 移植前処置の選択. 内科, 104(2), p 233-239.
		骨髄非破壊的同種移植	代表的な前処置レジメンを知る	前処置レジメンに特有な副作用症状を理解できる	前処置レジメンに特有な副作用を予測し、適切な看護介入を実践できる	前処置レジメンに特有な副作用を患者の個性を含めて予測し、予防を考慮した看護介入について指導的役割を果たす	神田善伸(2009)インフォームドコンセントのための図説シリーズ 造血幹細胞移植(初版). 医療ジャーナル社, 大阪.
	骨髄非破壊的同種移植						
薬剤・輸血	基礎知識	免疫抑制剤	薬剤・輸血の種類と副作用、投与時の留意点について理解し、説明できる	薬剤・輸血の種類と副作用、投与時の留意点を知る	薬剤・輸血投与時の観察を行い、アセスメントできる	免疫抑制剤や輸血の投与計画について、長期的展望や個性を考慮した上で看護介入が実践できる	星順隆(2004)造血幹細胞移植における輸血. 小寺良尚, 加藤俊一編, 必携造血細胞移植わが国のエビデンスを中心に, p149-151, 医学書院, 東京.
		造血因子製剤					小寺良尚他監修, 森下剛久他編(2005)造血細胞移植における輸血療法. 造血細胞移植マニュアル(第3版改訂新版), p492-496, 日本医学館, 東京.
	輸血(赤血球・血小板・血漿成分)	マニュアルに従い、指示通り投与できる	薬剤・輸血投与に伴う副作用に対応できる	薬剤・輸血投与時の看護についてスタッフに指導ができる	施設内での安全・確実な投与のために、多職種と協働しマニュアルの整備や調整を行うことができる	星順隆(2008)造血幹細胞移植患者に対する輸血. 神田善信編, みんなに役立つ基礎と臨床(上巻), p214-219, 医療ジャーナル社, 大阪.	
	投与管理		ABO血液型と輸血適合を知る	同種移植で起こる血液型の変化と投与可能な輸血について理解できる	血液型ミスマッチ移植を受ける患者に対し、血液型の変化を説明できる		
幹細胞採取	基礎知識	幹細胞採取の種類	幹細胞採取の種類を知る	採取の具体的方法やリスク・副作用を理解できる	採取時の看護についてスタッフに指導ができる	施設内での安全・確実な採取のために、多職種と協働しマニュアルの整備や調整を行うことができる	笠井雅信(2004)造血幹細胞の採取、調整、移植(同種および自家). 小寺良尚, 加藤俊一編, 必携造血細胞移植わが国のエビデンスを中心に, p102-148, 医学書院, 東京.
		幹細胞採取の方法	幹細胞採取の方法を知る	採取時の観察を行い、アセスメントできる			山崎裕介他(2004)骨髄・さい帯血バンクの仕組みとドナーへの対応. がん看護, 9(5), p386-392.
		採取に伴うリスク	採取時の観察ポイントを知る	採取に伴う副作用に対応できる			小寺良尚他監修, 森下剛久他編(2005)移植の準備と造血幹細胞採取. 造血細胞移植マニュアル(第3版改訂新版), p226-243, 日本医学館, 東京.
	看護		ドナー・患者・家族間に起こりうる問題を知る	ドナー・患者・家族間の問題をアセスメントし柔軟に対応できる	ドナー・患者・家族間の問題をアセスメントし柔軟に対応できる	倫理的に配慮された意思決定ができるように指導的役割を果たし、調整役となる	日野雅之他(2008)自家・同種骨髄・末梢血幹細胞の採取方法、ドナーの安全管理. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(上巻), p200-205, 医療ジャーナル, 大阪.
	コーディネートの流れ		骨髄・さい帯血バンクの活動について知る	バンク登録から供給までの過程を理解できる	ドナーコーディネイト業務を理解できる		神田善伸(2009)インフォームドコンセントのための図説シリーズ 造血幹細胞移植(初版). 医療ジャーナル社, 大阪.
幹細胞輸注	輸注前・中・後の看護		輸注の手順を知る	自家移植および同種移植の輸注を経験し、手順や副作用を理解できる	移植ソース・輸注方法の違いを考慮し、起こりうる副作用を予測した上で対処できる	安全な輸注のための環境調整やマニュアル整備等のマネージメントができる	田野崎隆二(2004)造血幹細胞の凍結保存. 小寺良尚, 加藤俊一編, 必携造血細胞移植わが国のエビデンスを中心に, p141-148, 医学書院, 東京.
			移植ソースによる手順・副作用の違いを知る	輸注時に必要な観察ポイントを知る	輸注時の観察を行い、アセスメントできる	輸注時の看護についてスタッフに指導ができる	
		指導のもとにマニュアルに従い実施できる	輸注に伴う副作用に対応できる				
免疫反応と対応	生着	定義					森下剛久(2004)生着、拒絶、GVHDの臨床. 小寺良尚, 加藤俊一編, 必携造血細胞移植わが国のエビデンスを中心に, p152-155, 医学書院, 東京.
	生着症候群	病態	生着、GVHDなどの免疫反応を知る	各免疫反応の基礎知識を得る	各免疫反応を理解し、適切な看護ケア方法の検討や改善ができる	複雑で長期化する経過を予測しながら、問題を分析整理できる	小寺良尚他監修, 森下剛久他編(2005)生着と生着不全. 造血細胞移植マニュアル(第3版改訂新版), p436-454, 日本医学館, 東京.
	GVHD	リスク因子					丸田彦郎(2008)生着の判定とキメラ解析. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(上巻), p122-127, 医療ジャーナル, 大阪.
	生着不全	治療方法	指導のもとに知識を活用し患者の状態を観察できる	指導のもとに、患者の状態をアセスメントし計画された看護ケアを提供できる	患者の個性に合わせた看護介入を実践できる	患者の医学的・心理社会的側面を考慮し、多職種と協働し関わることができる	今村雅寛(2008)移植後の免疫回復の評価. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(上巻), p136-141, 医療ジャーナル, 大阪.
	拒絶						和気敦(2008)生着不全に対する治療. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(下巻), p102-105, 医療ジャーナル, 大阪.
GVHD(急性・慢性)	診断・治療	診断(鑑別診断)					小寺良尚他監修, 森下剛久他編(2005)GVHD. 造血細胞移植マニュアル(第3版改訂新版), p 276-327, 日本医学館, 東京.
		発生時期	GVHDの基礎知識を知る	GVHDの基礎知識が理解できる	スタッフの理解や情報収集を促すための指導ができる	最新の知識について情報収集ができる	豊嶋崇徳(2008)GVHDの発症機序. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(上巻), p71-77, 医療ジャーナル, 大阪.
		臓器					豊嶋崇徳(2008)GVHDの発症機序 慢性GVHD. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(下巻), p24-37, 医療ジャーナル, 大阪.
		重症分類					豊嶋崇徳(2009)急性および慢性GVHDの病態・診断. 内科, 104(2), p206-212.
		治療方法					高見昭良(2009)造血幹細胞移植における薬物療法 GVHDの予防と治療. 内科, 104(2), p 262-266.

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ：初心者・新人	レベルⅡ：一人前	レベルⅢ：熟達者	レベルⅣ：エキスパート	参考資料
GVHD (急性・慢性)	看護ケア		出現しているGVHDの症状を観察できる	GVHDの変化を理解し患者のニーズを把握できる	GVHD症状に対するセルフケアについて患者・家族に説明・指導・支援ができる	GVHD症状に対して科学的根拠と最新の知識や技術を駆使して、看護ケアが工夫できる	<p>神田善伸(2009)インフォームドコンセントのための図説シリーズ 造血幹細胞移植(初版). 医療ジャーナル社.大阪.</p> <p>日本造血幹細胞移植学会:造血幹細胞移植ガイドラインGVHD. http://www.jshct.com/guideline/pdf/2009gvhd.pdf</p> <p>菊池隆秀監:慢性GVHD対策ガイドライン—慢性GVHDの診断とステージング—. http://www.hsct.jp/focus/0712/fc2.pdf</p> <p>岡本慎一郎監:慢性GVHD対策ガイドライン—慢性GVHDの治療とサポーターティブ・ケア—. http://www.hsct.jp/focus/0712/fc3.pdf</p> <p>井上明美他(2002)造血幹細胞移植患者のGVHD対策と看護. 看護技術, 48(11), p1269-1277.</p> <p>古賀友美(2004)移植患者の皮膚ケア. がん看護, 9(5), p403-407.</p> <p>山田真由美(2004)造血幹細胞移植患者の口腔ケア. がん看護, 9(5), p408-414.</p> <p>近藤美紀(2004)腸管GVHDと食事の工夫. がん看護, 9(5), p418-422.</p> <p>柿木保明, 山田静子編(2005)看護で役立つ 口腔乾燥と口腔ケア 機能低下の予防をめざして (第1版). 医歯薬出版株式会社. 東京.</p> <p>溝上祐子(2008)認定看護分野のトウディズ・ケア1 皮膚・排泄ケアのトピック 褥瘡ハイリスクの脆弱な皮膚の理解. ナーシング・トウディ. 23(1), p5-7.</p> <p>溝上祐子(2008)GVHD 移植片対宿主病. 溝上祐子, 河合修三編著, 知識とスキルが見てわかる 専門的皮膚ケア, p45-47. メディカ出版. 大阪.</p>
		GVHDの治療を医師の指示通りに実施できる	GVHDの発症を予測した観察ができ、症状出現時には適切な対応が速やかにできる	GVHDのケアについてスタッフに指導ができる	GVHDに伴う身体的苦痛を緩和する看護介入ができる	GVHDの発症を予測した観察ができ、症状出現時には適切な対応が速やかにできる	
造血幹細胞移植に伴う感染症	移植経過に伴う感染症の治療	グラム陽性球菌 グラム陰性桿菌 単純ヘルペスウイルス 水痘-帯状疱疹ウイルス サイトメガロウイルス EBウイルス	移植特有の感染症を知る	各感染症の発生時期、予防および治療を理解できる	患者・家族の個性性を考慮し、患者指導につなげることができる	最新の知識について情報収集ができる	<p>日本造血幹細胞移植学会:造血幹細胞移植ガイドライン サイトメガロウイルス感染症. http://www.jshct.com/guideline/pdf/1999cmv.pdf</p> <p>鳥野隆博他(2008)細菌・真菌感染症 サイトメガロウイルス(CMV)感染症 その他感染症. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(下巻), p38-62, 医療ジャーナル, 大阪.</p> <p>太田秀一(2009)移植後細菌感染症の予防と治療. 内科, 104(2), p246-250.</p> <p>平本展大, 福田隆浩(2009)移植後真菌感染症の予防と治療. 内科, 104(2), p251-255.</p> <p>中田潤, 池亀和博(2009)移植後ウイルス感染症の予防と治療. 内科, 104(2), p256-261.</p>
	移植経過に伴う感染症の看護	カンジダ属 アスペルギルス属 ニューモシスチス肺炎 トキソプラズマ症	指導のもとに、症状を観察できる	患者の状態をアセスメントし、基本的ケアが提供できる	患者の反応、ニーズにあわせ、ケア方法の検討や改善ができる	患者個々の感染症リスクを予測し、マネージメントできる	
移植に伴う臓器障害	呼吸器合併症	特発性肺炎症候群 びまん性肺泡出血 特発性器質化肺炎 閉塞性細気管支炎	移植に伴う臓器障害の存在を知る	病態が理解できる	知識を活用して、患者の症状を関連づけられる	起こりうる問題を予測しながら、患者の変化を迅速に捉え看護実践できる	<p>坂巻壽(2004)その他の合併症. 小寺良尚, 加藤俊一編, 必携造血幹細胞移植わが国のエビデンスを中心に, p188-193, 医学書院, 東京.</p> <p>小寺良尚他監修, 森下剛久他編(2005)合併症. 造血幹細胞移植マニュアル(第3版改訂新版), p377-418, 日本医学館, 東京.</p> <p>藤巻克通他(2008)中枢神経合併症 呼吸器合併症 心合併症等. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(下巻), p63-93, 医療ジャーナル, 大阪.</p> <p>川畑雅照(2009)造血幹細胞移植における呼吸器合併症. 内科, 104(2), p289-296.</p> <p>大島久美(2009)移植前処置における治療関連毒性とその対策. 内科, 104(2), p241-245.</p>
	肝障害	肝静脈閉塞症	指導のもとに症状を観察できる	臨床データを確認できる	苦痛緩和のための看護介入ができる	患者の医学的・心理社会的側面を考慮し、多職種と協働し関わることができる	
	血管障害	血栓性微血管症	病態が理解できる	治療計画や経過が理解できる	知識を活用して、患者の症状を関連づけられる	起こりうる問題を予測しながら、患者の変化を迅速に捉え看護実践できる	
晩期障害	2次発がん		晩期障害の存在を知る	病態をアセスメントするために知識を活用できる	発生機序と病態を理解できる	発生機序と病態、及び起こりうる問題をスタッフに指導できる	<p>小寺良尚他監修, 森下剛久他編(2005)晩期障害. 造血幹細胞移植マニュアル(第3版改訂新版), p419-434, 日本医学館, 東京.</p> <p>加藤俊一(2008)晩期合併症. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(下巻), p94-101, 医療ジャーナル, 大阪.</p> <p>渡邊知映(2008)セクシュアリティに関するカウンセリング. 神田善信編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(上巻), p315-319, 医療ジャーナル, 大阪.</p> <p>日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG)長期フォローアップ委員会監訳(2008)小児がん経験者の長期フォローアップ 集学的アプローチ. 日本医学館, 東京.</p> <p>末岡 浩(2009)造血幹細胞移植後の女性のQOL対策. 内科, 104(2), p310-315.</p> <p>日本小児白血病リンパ腫研究グループ(JPLSG)長期フォローアップ委員会監訳(2008)小児がん経験者の長期フォローアップ集学的アプローチ. 日本医学館, 東京.</p> <p>神田善伸, 渡邊知映監修:小冊子 化学療法をうける大切なあなたへ そしてあなたの大切な人へ, http://www1.ocn.ne.jp/~shin0219/pal-shiryu.htm</p>
	性機能障害		問題に対する相談に応じることができる	問題に対して意図的に対応し、必要な情報を提供できる	最新の知識について情報収集ができる	最新の知識について情報収集ができる	
	成長障害		問題に対する相談に応じることができる	問題に対して意図的に対応し、必要な情報を提供できる	最新の知識について情報収集ができる	最新の知識について情報収集ができる	

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ:初心者・新人	レベルⅡ:一人前	レベルⅢ:熟達者	レベルⅣ:エキスパート	参考資料
感染管理	感染管理の基礎	標準予防策	必要性を理解し実施できる	場面に応じた予防策を選択し実施できる	コンプライアンスの低下を発見し、改善のための介入が行える	最新の知識について情報収集ができる	矢野邦夫訳(2001)造血幹細胞移植患者の日和見感染予防のためのCDCガイドライン、インフェクションコントロール2001年臨時別冊、メディカ出版、大阪。
		感染経路別予防策	指導のもとにマニュアルに従い実施できる	患者・家族に必要と方法を説明し指導できる	免疫不全患者特有の予防策を理解し、スタッフに指導できる	多職種と協働し、マニュアルの整備や調整ができる まれな事例について、多職種と協働し対策を実践できる	矢野邦夫(2002)血管内カテーテル由来感染予防のためのCDCガイドライン、メディカ出版、大阪
		処置別予防策					大久保憲(2003)医療現場における手指衛生のためのCDCガイドライン、メディカ出版、大阪。
	移植特有の感染管理	環境管理	感染管理の重要性を知る	感染管理に必要な内容と、根拠について理解できる	各種ガイドラインを実践に導入することができる 患者の個性に合わせた判断、対応ができる	最新の知識について情報収集ができる	倉辻忠俊、切替照雄訳(2004)医療保健施設における環境感染制御のためのCDCガイドライン、メディカ出版、大阪
		職員・面会者の感染防止	指導のもとに、マニュアルに従い実践できる	患者・家族に必要と方法を説明し指導できる	スタッフに感染管理の必要性を指導、助言できる	施設の特徴に合わせた感染管理のプログラムを多職種と協働し実践、推進することができる	矢野邦夫、向野賢治訳・編(2007)医療現場における隔離予防策のためのCDCガイドライン—感染性微生物の伝播予防のために—(改訂第2版)、メディカ出版、大阪。
		日常生活上の注意(食事・物品管理等)					日本造血細胞移植学会:造血細胞移植後早期の感染管理に関するガイドライン、 http://www.jshct.com/guideline/pdf/2000.pdf 日本造血細胞移植学会:造血細胞移植ガイドライン予防接種、 http://www.jshct.com/guideline/pdf/2008yobousesshu.pdf
口腔ケアの基礎	口腔ケアの意義と必要性を知る	口腔ケアの基礎知識をアセスメントに活用できる	口腔ケアの必要性と正しい方法について、スタッフに指導的役割を果たす	施設内での口腔ケアシステムについて、多職種と協働して、マニュアルの整備や調整を行うことができる	鈴木俊夫編(2003)JUNスペシャル これからの口腔ケア、医学書院、東京。 日本口腔ケア学会編(2008)口腔ケア基礎知識—口腔ケア4級・5級認定資格基準準拠、永末書店、京都。 大田洋二郎編(2006)がん患者の口腔トラブルとケア。看護技術、52(14)。		
抗がん剤・放射線による口内炎のケア	抗がん剤による粘膜障害	発生機序、二次的合併症を知る	粘膜障害をアセスメントし、適切な看護介入ができる	適切な看護介入についてスタッフに指導的役割を果たす	重症化した粘膜障害に対して、多職種と協働しケア方法を検討し、改善することができる	患者の個性と症状に応じたケア方法の工夫や展開ができる	
	放射線による粘膜障害	指導のもとに粘膜障害の観察ができる 指導のもとに口腔ケア方法の変更ができる	患者・家族に粘膜障害の対処方法について説明・指導ができる 患者のセルフケアを支援できる				
スキンケア	スキンケアの基礎	皮膚の解剖・生理	スキンケアの意義と必要性を知る	スキンケアの基礎知識をアセスメントに活用できる	基本的なスキンケアの必要性と方法についてスタッフに指導的役割を果たす	施設内での基本的スキンケアの提供に関して、多職種と協働して、マニュアル整備や調整を行うことができる	日本看護協会認定看護師制度委員会創傷ケア基準検討会編(2002)創傷ケア基準シリーズ(3)スキンケアガイド、日本看護協会出版会、東京。
		基本的なスキンケア	基本的なスキンケアを知る 患者の皮膚の変化を観察できる 指導のもとに基本的スキンケアが実施できる	患者・家族にスキンケアの必要性と方法について説明・指導ができる	患者の個性に応じたアセスメントを行い、ケアの応用ができる		溝上祐子、河合修三編(2008)知識とスキルが見てわかる 専門的皮膚ケア。メディカ出版、大阪。 田中秀子編(2008)ナースのためのスキンケア実践ガイド。照林社、東京。
支持的ケア	栄養	支持的ケアの重要性を知る	支持ケアに関する基礎知識を得る	セルフケアについて患者・家族に説明・指導・支援ができる	科学的根拠と最新の知識や技術を駆使して、看護ケアが工夫できる	多職種と協働し、ケア方法を検討し改善することができる	今滝修(2008)栄養管理 輸液管理、神田善信編、みんなに役立つ基礎と臨床(上巻)、p290-298、医業ジャーナル、大阪。 辻哲也編(2006)癌のリハビリテーション(1版)、金原出版、東京。
	身体機能リハビリテーション						患者のニーズを把握し、基礎知識をアセスメントに活用しながら、看護介入ができる
患者教育(セルフケア支援)	自家移植	移植スケジュールとオリエンテーション内容	患者・家族へのオリエンテーションの内容を知る	患者・家族にオリエンテーションする内容の根拠が理解できる	患者・家族へのオリエンテーションの内容とその根拠について、スタッフに指導ができる	患者・家族へのオリエンテーション内容について見直し・修正を行うために、適切に情報収集ができる	小寺良尚編(2008)やさしい造血幹細胞移植のアプローチ 改訂版。医業ジャーナル社、大阪。
		幹細胞採取とオリエンテーション内容		患者・家族の個性を考慮して、効果的な説明方法を工夫できる	患者・家族からの質問に対して、根拠に基づいて適切に対応できる	患者・家族の移植後の長期的な経過を予測し、効果的なセルフケア支援のために指導的役割を果たす	西本仁美(2009)自己末梢血幹細胞移植の実際と看護。畠清彦他編、血液がん患者の治療と看護、がん看護1・2月号増刊号、p281-287。
		経過において必要なセルフケア支援(感染予防策・口腔ケア・活動)					森文子(2009)同種造血幹細胞移植の看護—骨髄移植の場合。畠清彦他編、血液がん患者の治療と看護、がん看護1・2月号増刊号、p272-280。
	同種移植	移植スケジュールとオリエンテーション内容	指導のもとに、パンフレットやマニュアルに沿って、患者・家族に必要な内容を説明できる	患者・家族からの質問に対して、根拠に基づいて適切に対応できる	患者・家族の移植後の長期的な経過を予測し、効果的なセルフケア支援のために指導的役割を果たす	国立がんセンターがん対策情報センター:がん情報サービス 造血幹細胞移植を受ける方へ、 http://ganjoho.jp/public/dia_tre/attention/HSCI.html	
	経過において必要なセルフケア支援(感染予防策・口腔ケア・活動)						

大項目	中項目	小項目	レベルⅠ：初心者・新人	レベルⅡ：一人前	レベルⅢ：熟達者	レベルⅣ：エキスパート	参考資料	
		退院後の生活に必要なオリエンテーション(感染予防策・活動) GVHDについて必要なオリエンテーション(症状・経過・観察項目) 移植後合併症やGVHDのケア(症状・経過・口腔、目、皮膚のケア・運動) 移植ドナーに必要なオリエンテーション(G-CSF注射・幹細胞採取方法・経過・観察)	患者・家族の説明に対する反応を観察できる	患者・家族の反応に留意し、セルフケア支援を行う上での問題点をアセスメントできる オリエンテーション、患者教育を計画的に実施できる	患者・家族の現在の反応と移植経過を見通して、個別的なセルフケア支援を実践できる 行った援助を評価し、継続的にセルフケア支援できる	患者・家族の移植後の長期的な経過において、多職種と協働してセルフケア支援を実践できる		
心理・社会支援	患者		患者・家族に起こりうる一般的な問題を知る	患者・家族の問題をアセスメントできる	患者・家族の問題を多角的にアセスメントできる	多職種と協働し、患者・家族の個性に応じた介入ができる	赤穂理絵(2004)先端医療とサイコoncology 造血幹細胞移植におけるサイコoncology. 臨床精神医学, 33(5), 579-584. 矢野邦夫(2004)QOL. 小寺良尚, 加藤俊一編, 必携造血細胞移植わが国のエビデンスを中心に, p210-216, 医学書院, 東京. 及川郁子監修, 田原幸子編著(2005)予後不良な子どもの看護. メヂカルフレンド社, 東京. 赤穂理絵(2005)造血幹細胞移植における精神医学, 精神医学, 47(8). 近藤まゆみ他編著(2006)がんサバイバーシップ がんとともに生きる人々への看護ケア. 医歯薬出版, 東京. 丸光恵, 水谷修紀編集(2006)特集 小児看護のトータルケアⅡ 患者・家族ケアを中心に, 小児看護, 29(12). 森文子(2007)移植患者の看護 ストレスと心理社会的ケア. 血液・腫瘍科, 55Suppl.5, p634-639. 筒井真優美編(2007)小児看護学第5版子どもと家族の示す行動への判断とケア, 日経研出版 吉内一浩(2008)移植患者の心理的サポート. 神田善伸編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(上), p310-314, 医療ジャーナル, 大阪. 丸光恵, 石田也寸志監修(2009)ココからはじめる小児がん看護. へるす出版, 東京. 赤穂理絵(2009)造血幹細胞移植後合併症へのアプローチ 造血幹細胞移植における精神心理的問題, 内科, 104(2), p303-306. 藤村真弓他(2009)特集病児のきょうだい支援. 小児看護, 32(10), p1291-1386. 国立がんセンターがん対策情報センター:がん情報サービス 心のケア. http://ganjoho.jp/public/support/mental_care/index.html .	
	家族(重要他者も含む)	一般論を頼りに、患者・家族に起こっている問題の情報を収集する	患者・家族の不安や苦痛に対して共感的・支持的に対応できる	問題を整理して、積極的介入ができる	患者・家族の意志や価値観を尊重した対応ができる	患者・家族の看護支援について指導的役割を果たす		
倫理	看護職の倫理綱領	看護職の倫理綱領を知る	指導のもとに、倫理綱領に基づいた看護実践ができる	倫理綱領に基づいた看護実践ができる	複雑な問題に対処するために、多職種と積極的に関わり、問題を分析整理できる	倫理的配慮について指導的役割を果たす	ダニエル,F.チャンプリス(1996)／浅野祐子訳(2002).ケアの向こう側—看護職が直面する道徳的・倫理的矛盾. 日本看護協会出版会, 東京. 加藤尚武, 加茂直樹編(1998)生命倫理学を学ぶ人のために. 世界思想社, 京都. 森慎一郎(2004)移植治療の光と影. がん看護, 9(5), p379-385. 日本小児血液学会(2002)「健常小児ドナーからの造血幹細胞採取に関する倫理指針」. http://www.jsph.info/JSPH-SCT.html	
	特有の倫理問題	移植適応を考慮する時	移植に関連した倫理的問題の存在を知る	移植に関連した倫理的問題の存在を知る	移植に関連した倫理的問題を意識した行動がとれる	移植に関連した倫理的問題について理解できる	移植に関連した倫理的配慮について指導的役割を果たす	J.トンプソン, H.トンプソン著／ケイコ・イマイ・キシ他監訳(2004)看護倫理のための意思決定10のステップ. 日本看護協会出版会, 東京.
		インフォームド・コンセントと自己決定の支援の時						フライ ST, ジョンストンMJ著, 片田範子, 山本あい子訳(2005)看護実践の倫理 臨床的意思決定のためのガイド(第2版). 日本看護協会出版会, 東京.
		特殊な倫理的配慮を要する時						日本看護協会編(2006)新版看護者の基本的責務 基本法と倫理, 日本看護協会出版会, 東京.
		患者・家族にも協力を得る時						ジョンセンAR他著, 赤林朗監訳(2006)臨床倫理学 Clinical Ethics(第5版). 新興医学出版社, 東京.
		臨床試験時						赤林朗(2005)入門・医療倫理Ⅰ. 勁草書房, 東京.
		ドナーの問題						赤林朗(2007)入門・医療倫理Ⅱ. 勁草書房, 東京.
移植後の状態悪化時	森慎一郎(2008)移植診療における倫理. 神田善伸編, みんなに役立つ造血幹細胞移植の基礎と臨床(上巻), 医療ジャーナル, 東京.							